

FUNCTION 1

除菌

EVIDENCE

除菌性

抗菌性

抗かび性

消臭性

資料一覧

試験結果報告書

依頼者名 株式会社 1 Line 殿
品名 生地 菌滅 S 1 点
試験項目 ウエットワイパー類の除菌性能試験

2021年7月16日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

2021年10月12日

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
神戸試験センター 森



記

1. 試験施設に関する情報

- 施設名称 : 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター
- 施設住所 : 神戸市中央区下山手通5-7-3
- 試験担当者 : 森 仁美

2. 試験試料

検体	ロット番号
生地 菌滅 S	—

- 試験試料受領日 : 2021年7月16日
- 保管方法 : 遮光、室温にて保管

3. 試験条件

- 試験方法 : 一般社団法人日本衛生材料工業連合会 ウエットワイパー類の自主基準
- 試験実施日 : 2021年10月4日
- 試験菌種 (継代回数) : *Escherichia coli* NBRC 3972 (継代3回)
- 不活化剤の組成 : SCDLP プイヨン培地 (栄研化学)
- 試験試料使用枚数 : 1枚

試験結果

不活性化剤の有効性確認

大腸菌 (*Escherichia coli* NBRC 3972)

検体	生菌数平均値(CFU/ml)	NT / NC
不活性化剤のみ (NC)	1.3×10^2	—
生地 菌滅 S	1.2×10^2	0.903

除菌性能試験結果

大腸菌 (*Escherichia coli* NBRC 3972)

検体	生菌数 常用対数平均値	除菌活性値
乾燥直後 (Ne)	6.70	—
対照試料 (Nc)	5.51	—
生地 菌滅 S	3.23	2.3

* 試験結果詳細

- ・別紙 1： 除菌性能試験結果 (大腸菌)
- ・別紙 2： 不活性化剤の有効性確認試験結果 (大腸菌)

以上

別紙2

不活性化剤の有効性確認試験結果(大腸菌)

関連報告書No. : 21KB040573

2021年10月12日
(一財)日本繊維製品品質技術センター
神戸試験センター

試験試料

検体No.	ロット番号
生地 滅菌S	—

試験菌種: *Escherichia coli* NBRC 3972

検体No.	n数	コロニ数/ml		希釈倍率	CFU/ml	Average (CFU/ml)	NT / NC
不活性化剤のみ(NC)	1	140	141	1	1.4E+02	1.3E+02	—
	2	123	124	1	1.2E+02		
	3	125	130	1	1.3E+02		
生地 滅菌S (Nd)	1	116	123	1	1.2E+02	1.2E+02	0.903
	2	110	114	1	1.1E+02		
	3	123	121	1	1.2E+02		

試験報告書

依頼者 株式会社 l l i n e

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 本報告書中

表題 抗菌性試験

2020 年 08 月 20 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



JNLA 030182JP



抗菌性試験

1 依頼者

株式会社 1Line

東京都港区海岸3-5-10第1東運ビル ウェアハウス内3F

2 検体

1) 菌滅スプレータイプ

2) 菌滅スプレータイプ 比較用 無加工品

3 試験概要

1) 試験片前処理

一般社団法人抗菌製品技術協議会 試験法 3. 抗菌加工製品の抗菌力持続性試験法 (2018年度版)(2)耐光性試験, 区分1(キセノンランプ 60 W/m², 10±0.5時間照射)により, 検体の試験片前処理を行った。

なお, 試験片前処理はJNLA登録区分範囲外である。

2) 抗菌性試験

JIS Z 2801:2012「抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果」5 試験方法により, 検体の抗菌性試験を行った。

なお, 検体は清浄化を行わずに試験に供した。

4 試験実施施設

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所

大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

5 試験責任者

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所

微生物部 微生物研究課

太田 知克

6 試験開始日

2020年11月06日

7 試験結果

結果を表-1に、 U_0 、 U_t 及び A_t の値を表-2に、次式により算出した抗菌活性値を表-3に、試験に用いた試験片、フィルム及び試験菌液の概要を表-4に示した。

$$R = (U_t - U_0) - (A_t - U_0) = U_t - A_t$$

R : 抗菌活性値

U_0 : 無加工試験片[検体2]の接種直後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

U_t : 無加工試験片の24時間後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

A_t : 検体1)の24時間後の生菌数(/ cm^2)の対数値の平均値

表-1 試験片の生菌数測定結果

試験菌	試験片 前処理	測定	試験片	試験片1 cm^2 当たりの生菌数		
				測定-1	測定-2	測定-3
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	接種直後	無加工	1.9×10^4	2.0×10^4	1.9×10^4
		35 °C	無加工	2.3×10^4	6.0×10^3	8.1×10^3
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
	耐光性試験	接種直後	無加工	1.4×10^4	1.4×10^4	1.5×10^4
		35 °C	無加工	2.3×10^4	1.7×10^4	2.0×10^4
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
大腸菌	実施せず	接種直後	無加工	9.2×10^3	1.1×10^4	1.1×10^4
		35 °C	無加工	5.3×10^5	5.7×10^5	7.7×10^5
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
	耐光性試験	接種直後	無加工	1.2×10^4	1.0×10^4	1.2×10^4
		35 °C	無加工	7.9×10^5	8.2×10^5	1.6×10^5
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63

黄色ぶどう球菌 : *Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* NBRC 12732

大腸菌 : *Escherichia coli* NBRC 3972

無加工試験片 : 検体2)

<0.63 : 検出せず

表-2 U_0 , U_t 及び A_t の値

試験菌	試験片前処理	生菌数の対数値の平均値	
		U_0	U_t
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	U_0	4.286
		U_t	4.016
		A_t	検体1) <-0.201
	耐光性 試験	U_0	4.156
		U_t	4.298
		A_t	検体1) <-0.201
大腸菌	実施せず	U_0	4.016
		U_t	5.789
		A_t	検体1) <-0.201
	耐光性 試験	U_0	4.053
		U_t	5.672
		A_t	検体1) <-0.201

表-3 抗菌活性値

試験菌	試験片前処理	対 象	抗菌活性値*
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	検体1)	>4.2
	耐光性試験	検体1)	>4.4
大腸菌	実施せず	検体1)	>5.9
	耐光性試験	検体1)	>5.8

* 抗菌効果 : 2.0以上

表-4 試験に用いた試験片、フィルム及び試験菌液の概要

区 分		抗菌加工	無加工
試験片	種類	検体1)	検体2)
	大きさ	約5 cm×5 cm	約5 cm×5 cm
	形状	正方形	正方形
	厚み	約0.3 mm	約0.2 mm
	清浄化の方法	実施せず	
フィルム	種類	ポリエチレンフィルム	
	大きさ	約40 mm×40 mm	
	形状	正方形	
	厚み	約0.05 mm	
試験菌液の 接種量	黄色ぶどう球菌	0.4 mL	
	大腸菌	0.4 mL	
試験菌液の 生菌数	黄色ぶどう球菌	前処理実施せず : 9.3×10^5 /mL	
		耐光性試験 : 5.5×10^5 /mL	
	大腸菌	5.8×10^5 /mL	

以 上

発行責任者：一般財団法人日本食品分析センター 東京本部

レポートセンター 課長 新井 武子



本報告書の全部又は一部の無断
転載転用を固くお断りします。

KAKEN

No. HL-21-021845R

試験報告書

依頼者 株式会社 1Line 殿
品名 生地 1点
試験項目 抗かび性

2021年7月6日付けで当所に提出された試料の
試験結果は、下記のとおりです。

2021年7月21日

カケン

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号
一般財団法人 **カケンテストセンター**
大阪事業所 生物ラボ



記

試験結果

1. クロカビ

試料	ATP mol 量の常用対数値	抗かび活性値	
		胞子液接種直後	42時間培養後
① ウール生地1枚(菌滅 除菌) 原品	-10.3	-11.4	3.1
標準布(綿100%、白布)	-10.2	-8.2	—

2. 白癬菌

試料	ATP mol 量の常用対数値	抗かび活性値	
		胞子液接種直後	42時間培養後
① ウール生地1枚(菌滅 除菌) 原品	-10.3	-10.4	2.3
標準布(綿100%、白布)	-10.3	-8.1	—

試験方法: JIS L 1921:2015、吸収法 (ISO 13629-1:2012 準用)

供試かび: クロカビ・ *Cladosporium sphaerospermum* NBRC 6348

白癬菌・ *Trichophyton mentagrophytes* NBRC 32409

試料

①

KAKEN KAKE:

以上

本報告書に記載の試験結果は供試々料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を報告するものではありません。
事業所朱印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認	作成

本報告書の全部又は一部の無断転載転用を固くお断りします。

KAKEN

No. HL-21-049552(1)

試験報告書

依頼者 : 株式会社 lLine 殿
品名 : 生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 1点
試験項目 : アンモニアガスの除去性能評価試験 ほか

2021年11月11日付けで当所に提出された試料の試験結果は下記のとおりです。

2021年11月15日

カケン
〒332-0016 埼玉県川口市幸町1丁目7番22号
一般財団法人 **カケンテストセンター**
東京事業所 分析ラボ
Tel (048)-258-3279 Fax (048)-258-3287

記

1) アンモニアガスの除去性能評価試験

試料*	初発濃度 (ppm)	2時間後	
		ガス濃度 (ppm)	減少率 (%)
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	100	1.1	99以上
ブランク (空試験)	100	78	—

2) 酢酸ガスの除去性能評価試験

試料*	初発濃度 (ppm)	2時間後	
		ガス濃度 (ppm)	減少率 (%)
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	30	0.5以下	98以上
ブランク (空試験)	30	26	—

3) イソ吉草酸ガスの除去性能評価試験

試料*	減少率 (%) [2時間後]
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	98

*上記試験結果は、当センター発行報告書 HL-21-046608 (2021. 11. 5) より転記

試験方法 : 消臭加工繊維製品認証基準で定める方法<(一社)繊維評価技術協議会>

提示試料



以上

本報告書に記載の試験結果は供試々料に対するものであり、荷口 (ロット) 全体の品質を報告するものではありません。事業所朱印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認 作成

